

安徽省包帯工場視察報告

【縫製部屋】



原反の縫製部屋へは扉を開け建物へ入り、ビニールカーテンを超えて入室。

各部屋の入口に電撃殺虫機が設置されています。

空調管理、避難経路、消防設備とそれぞれの担当者チェックが設定されています。



窓は閉められ、空調があり夏でも窓を閉めて作業をしています。

写真のダクトは、二重構造の建物の内側(間の空間)を一括で空調管理されています。

【加工部屋】



加工部屋は新しくした別の建物です。併設されています。

原反を縫製する工程以外は、加工からパッケージ迄こちらのそれぞれの部屋で行われます。建物へ入り2回の扉を通ると、脱靴部屋です。

さらに3回扉(男子着替え部屋、男子ロッカー部屋)を超えて消毒室です(下図左)。



女子ロッカー部屋との合流部屋を経由し、各作業工程に分かれた部屋へ分かれる部屋です。ここまでで扉は5枚です。

右図は左から包帯裁断部屋、個包装部屋、カートン詰め部屋、搬入通路経由部屋、別商品検品後ローリング最終縫製加工部屋です。

※搬入通路部屋へは下図をご参照ください。



建物内、基材在庫部屋から昇降機にて左図の部屋を通り、経由部屋を通ると搬入通路部屋へ繋がります。原反は包装され作業部屋へ運びます。



新しい建物なので、これから増大する機械を設置していきます。

中古機ではなく新台です。

右図は包帯を各長さに設定された機械で、ローリング後カットし、重さを検品しています。段ボールは検品によってはじかれたものを入れる用です。



各電灯に電撃殺虫機があります。建物は2重の窓です。

個包装の行程はこの部屋で行われます。



個包装の機械です。

個包装され、検品部屋(右図)へ流れます。

黄色のキャップが検品責任者です。

検品しながらカートン詰めが行われます。

※ボトルの作業部屋への納入形態と検品を確認しなければなりません。

※外注はさせないと口頭で確認しています。